

茨城ハング会報

2003年1月発行

【再度のお願い】<2003年度会費納入をお願いします>

2003年度の会費納入を前回会報でお願いしました。既に多くの方から払い込みを済ませていただきましたが、まだの方はぜひお早めに納入をお願いします。先月と重複しますが、納入用紙(郵便振替用紙)を本会報にも同封しました。既に払い込みを済ませている方は、ご面倒でも破棄をお願いします。

2003年度の会費は20,000円です。

会費は茨城ハング運営の原動力です。みなさんのご協力をお願いします。

なお、ご自分が払い込んだか否か不安、という方は、各ショップにお問い合わせくだされば、払い込み状況がその場で確認できます。

<総会開催のお知らせ>

以下の日程で、茨城ハングの総会を開催します。総会は、会の意思決定に関する最高機関であり、今後の会の運営方針を決める最も重要な会議です。会員の方は万障お繰り合わせの上ご出席ください。

総会：2003年2月16日(日) 16:30～18:00
大増多目的センターにて
(軽食を用意します)

次回役員会：2003年2月16日(日) 総会終了後

次々回役員会：2003年3月16日(日) 16:30～18:00
ランディングカフェにて

<火の元に注意！>

相変わらず乾燥した日が続いています。火の元に十分注意してください。特に煙草を吸う方は、喫煙の際には指定場所を守り、また吸殻の始末を厳重にお願いします。

<大会情報>

以下の予定でスプリングフライトが開催されます。大会当日は一般会員およびビジターのフライトが制限されます。詳しくは各ショップ宛お問い合わせください。

スプリングフライト日程：3月19日(水)～23日(日)

<テイクオフエリア周辺の駐車について>

テイクオフ付近の駐車は避けてください。特に休日(土日祝祭日)に駐車する際には、必ず駐車場へ車を移動した上で駐車してください。平日も、路肩への駐車は極力避けてください。円滑な交通を確保し、無用なトラブルを避けるため、ぜひともご協力をお願いします。

<地元の方々に挨拶をしましょう>

地元有識者の方から、「大増は古い土地柄なので、訪ねてくるフライヤー全員が地域社会への敬意を忘れずに、地元の方に対してもっと気軽に挨拶してもらった方が良い」との指摘をいただいています。敬意をもって接しましょう。

また、近隣のエリアですが道路上でセットアップを行っている通過車両との間の小トラブルの事例の報告もあります。

地元の方々との良好な関係を維持することは、この地で楽しく安全にフライトするために必要不可欠なことです。

特に、指導的立場にある会員の方々には、後輩フライヤーの方々への指導の中にも取り入れていただきたいと思います。

みなさんのご理解とご協力をお願いします。

1月役員会報告

日時：2003年1月19日(日)16:45~20:30

場所：ランディングカフェ

出席者：山崎 勇光、岡本 正美、桂 敏之、大沢 豊、岩間 雅彦、佐々木 弘道、
藤沢 勇一、小田島 久則、呉屋 紀彰、榊原 彩子、井上潔(書記)

1. 定例報告事項

(1) エリアテスト報告

合格者紹介(9名、書面による自己紹介を受理)

・桂検定員

- 742 江原 勝明(えはら かつあき)
- 743 小川 正純(おがわ まさずみ)
- 744 上地 正悟(かみち しょうご)
- 747 歳森 英政(としもり ひでまさ)
- 748 劔持 昭宏(けんもち あきひろ)
- 750 後藤 理加(ごとう りか)

・藤沢検定員

- 745 寺田 麻子(てらだ あさこ)
- 746 廣田 徹志(ひろた てつし)
- 749 河野 太一(こうの たいち)

(2) エリア管理作業報告(岡本・桂)

- 11月28日 エリア見回り、T0トイレ掃除、
- 12月26日 エリア見回り、T0トイレ掃除
- 1月12日 LD吹流し1本交換

- ・メインLDをイノシシが掘り返したと思われる跡が広範囲にあり、埋め戻す必要がある。桂役員を中心に対策を検討し実施する。

(3) 会計状況報告(会計欠席のためメールにて事務局あてに報告あり)

現在、会計監査を依頼中。2002年度はほぼ予算通りに推移した。ただし、繰越金の約半分

を食い潰した形となっている。主な原因は、電柱移設費用が予想外に大きかったため。その一方、今年度は会費納入数がまだ少なく、電柱移設費用を除いても、昨年度並みの予算も組めない状況。

2. 報告・審議事項

(1) ランディング水路ネットの安全対策について(桂)

- ・ 魚網を利用した作業(秋山担当、欠席のため事務局宛メールにて報告あり)

12月15日、会員多数の協力の下、新しい網に交換した。

なお、撤去した網は通常のごみとしては処分できない(高分子ごみ扱い)ため、産廃業者に依頼するなどの処分方法を検討中。

- ・ 既設ネットパネルの養生について(桂)

既設のネットパネルについて、東西方向からの侵入時に、鉄骨の露出部分に衝突し怪我する可能性があり、古タイヤ等による緩衝材を取り付けたい。

設置必要部分の延べ延長は24メートルで、古タイヤ約25本必要。桂役員を中心に検討を進め、実作業は大沢役員に委託した。作業費用として6万円程度を要する見込み。

(2) ランディング南側電線の撤去・移設について(山崎)

- ・ 東京電力の電柱撤去作業は既に終了している。技術的な問題から、NTTの配線は大増地区のTV共聴アンテナの電柱へ移設・併設予定であり、NTTの電柱撤去の段取りとしては、共聴アンテナ組合との調整を引き続き進めている状況。茨城ハング側は、板垣会員を中心に引き続き調整を進めている。

- ・ 東京電力の電柱撤去の結果、ランディングカフェ前の電柱が1本残っており、これも撤去したい。近隣で進められている工事と併せて撤去することができないか、打診してみる。必要な費用負担額についても確認する。山崎役員を主担当として進めているが、方向性が出せるのは上記NTT配線の移設が落ち着いてからになると思われる。

(3) オータムフライトについて(事務局より代理報告)

- ・ 11月23日に開催、無事終了しました。運営に協力してくださったみなさん、地元のみなさん、そして参加してくださったみなさんに感謝します。

(4) 会費の払い込み方法について

会費の納入状況が停滞する原因のひとつとして、会費の払い込みが面倒、という要素があると考えられる。会費は現在、郵便振替による払い込みだけを受け付け、他の方法では一切受け付けていない。その主な理由は以下の通り。

- ・ 確実に払い込みの記録が残る。
- ・ 入金があると、その都度内容証明郵便で指定あて先に通知が送られてくる。
- ・ 通帳が無く、口座を開設した郵便局でしか出金の取り扱いができない。
通帳が無いので盗まれるものがない。このため、盗難の恐れが非常に低い。
- ・ 法人格を持たない茨城ハングでも利用可能。

銀行口座や郵便貯金口座(ぱるる)を利用すれば、インターネットを使った払い込み手続きも可能だが、以下の理由により使いにくくなっている。

- ・ 茨城ハングには法人格がないため、法人名義では口座開設できない。
- ・ 会計個人の口座を流用すると、個人の所得と見なされてしまう恐れがある。

コンビニでの払い込みは、会員数規模が少ないため利用不可能。(JHFのフライヤー登録でも使うのを断念した経緯あり。)

一方、最近では、同窓会など任意団体を対象とした、会費徴収代行サービスなどが登場しており、茨城ハングでも利用できる可能性がある。ただし、手数料が(郵便振替などに比べて)高額。

いままで、各ショップで一旦会費を預かる、会計に直接手渡しする方法も検討されたが、以下の理由により却下してきた。

- ・事故が起きた際の責任を考えると、リスクが高すぎる。

しかし最近の会の窮状を見て、一部に会費を預かるリスクを負ってでも会の運営に協力を申し出てくださるショップも現れており、今後、会員の利便を図りつつ安全に会費を徴収できる方法を模索することになった。2004年度の会費徴収に間に合わせるため、9月役員会までに一定の方向性を出すことを決定した。

(5) 総会について

2月16日(日)に開催。経費を節減する目的で、総会を3月の役員会まで延ばすことも検討したが、今年度の運営方針を早々に決める必要があることから、例年通り2月に開催することとした。

(6) 会報の郵送配布について

従来、会報は役員会の都度発行し、発行の都度、全会員に郵送で配布してきた。今年度は予算的に厳しく、郵送経費がその大きな一部を占めている。他の予算項目と同様、郵送経費も削減の工夫をしたい。

- ・郵送回数の削減

会報自体は発行するが、郵送は数回に1回程度とする案。

郵送されるまでの間は、各ショップに掲示等行う。

- ・郵送の廃止

インターネットホームページ等を通じて閲覧可能とし、郵送を廃止する案。

しかし以下の問題点がある。

- 部外者にも自由に見えてしまう。会員資格の確認などの仕組みを導入するには多くの経費がかかり、支出削減の趣旨から外れてしまう。

- インターネットを日常的に利用していない会員も、まだ多く存在する。

ただし、一律に郵送を廃止するのではなく、会員各人の希望を募り、たとえば協力してくれる会員には電子メールで会報を送り、郵送を廃止する等の可能性はある。

一挙に郵送を廃止することはせず、今年度はまず、郵送回数の削減を試行する。

趣旨と進め方の説明を、総会で行う。

(7) エリア管理年間委託作業について

例年通り、大沢役員に委託することに決定。会の予算状況に配慮し運営に協力する趣旨で、昨年度と同じ内容の作業で、料金を値下げしたい旨の申し出があり、これを了承し年間50万円で委託することとした。詳細は別紙参照。

関連して、事実上の消耗品である吹流しについて、安価に材料を入手できないか関係先に交渉してみる旨の申し出が、小田島役員からあった。

(8) 借地料の低減について

支出を削減する目的で、いままで手をつけてこなかった借地料の値下げ交渉を行うことにした。従来は園部会長に一任していたのを、岡本役員も協力し地権者の方々を訪問することにした。最後の手段として、一部の土地、たとえばフライトに直接影響しない駐車場の使用を取りやめることも検討課題に挙げたが、当面は全体的な借地料値下げ協力をお願いをしてゆくことにする。

(9) 今後の借地関係動向について(山崎)

大增地域は、農業振興地域から除外される時期が近づいていると考えるべき。

- ・ 福原インターができ、付近に宅地や工場が増えつつある。
- ・ 大增地域も近い将来、宅地に転用できる時期が来るかもしれない。

この動きの中、今後も板敷で飛び続けられる状態を維持するためには、地元の方々との一層の意思疎通を図り、一緒にスカイスポーツ振興地域としての将来イメージを作ってゆくことが必須。将来にわたって、次世代を担う方々が土地を提供してくださる雰囲気を作り維持してゆくことが重要。

(10) その他

・ 笠間稲荷参拝

例年通り、園部会長を代表に、笠間稲荷に新年の安全祈願の参拝を済ませた。

・ 観光協会の清掃作業ボランティア報告

11月27日、観光協会によるフルーツラインの清掃作業があり、当会からも役員が作業に参加した。

・ IFFC 開催について(呉屋)

例年通りの内容で、5月18日(日)に開催予定。

ビジターが多数参加予定で、当日に限り、テイクオフの西側以外のエリアでもセットアップを行わせてもらえないか、という打診があった。IFFCは例年、一般会員のフライトにも十分配慮した堅実な運営を行っている実績があることから、役員会としては上記打診を受け入れ、許可することにした。